

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年4月5日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4674000130
法人名	医療法人 杏政会
事業所名	グループホーム つる
所在地	鹿児島県薩摩郡さつま町鶴田2691番地1 (電話) 0996-55-9988
自己評価作成日	平成29年2月28日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

さつま町鶴田の国道267号線沿いに立地し、近隣には、鶴田小中学校・役場・スーパー等があり、便利な地域である。  
ホームの理念にも掲げてあるように、明るく楽しくをモットーとしており、職員が明るく元気であり、利用者と和気あいあい、家族同然に暮らしている。管理栄養士が献立を作成し、病気食にも対応し、糖尿病の改善につながったり、嚥下困難な方には、ソフト食の提供も行っている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年3月21日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、生活しやすい環境の設備を行い、広くて長い廊下は歩行訓練にも利用できる。併設しているウッドデッキも段差がなく、自由に出入りができる。菜園コーナーもあり、利用者が家庭同然に安心して生活ができるように支援している。
- ・地域との関わりを大切に、ボランティアの受け入れや認知症サポーター養成講座の講師を引き受けたりして地域交流を深め、介護情報の発信の場ともなっている。
- ・栄養士の献立で、利用者の嗜好に配慮しながら食事形態を工夫している。
- ・管理者は職員とのコミュニケーションを図り、職員の意見や提案を積極的に取り入れている。職員は勤務年数も長く離職者も少なく、チームワークも良い。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ホームのリビングに理念を掲げており、昼食前にホーム全員で唱和を行い、日々意識している	理念は玄関やリビングに掲示し、昼食前に全員で唱和している。職員会議やミーティング等で振り返り、理念を共有して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	立地条件的には、目立たない場所であるが、散歩時、行事時、買い物等地域の方と交流している。また、季節の物や衣類、おやつとの差し入れがある。お返しとしてお茶会を実施している。	散歩や買い物の時、近隣の方とあいさつや会話を交わしている。ホームの行事で花見や敬老会・クリスマス等、家族や地域のボランティアも参加し交流している。家族や近隣から、お菓子やおやつとの差し入れもあり、お茶会をしたり、日常にお付き合いをしている。管理者は認知症サポーターとして、中学校に講師として出向いたり、高校の福祉科入学時にはあいさつに行き交流を深めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症サポーターのメンバーとしてやSOSネットワークのメンバーとして、全員が活動しており、また、お世話にもなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ホームの問題点や運営上の相談を行い。グループホームの増改築につながったり、助言をいただいたり、利用者職員の安心につながっている。</p>	<p>会議は定期的開催している。入居者の状況や行事計画・外部評価結果報告・グループホーム完成に向けての説明等の報告を行い、質問や提案等の意見交換をしている。受診についての助言により、介護タクシーで対応したらどうかとの提案に家族の了解も得られ、実施することになり、意見をサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>生活保護身寄りのない利用者を介護保険課や地域包括を中心に支えていく協力態勢を整えていただいたり、運営上の相談や書類で解らないところを気軽に相談でき助かっている。</p>	<p>市担当者とは窓口に出かけたり電話で相談し、事業所の実情や取り組みを伝え、アドバイスを受けている。毎年介護相談員も受け入れ、市主催の研修会に積極的に参加している。生活保護担当者とも密に連絡し合っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の弊害を全職員が理解しており、身体拘束「0」に取り組んでいる。入所当時、徘徊のひどい利用者がおられるときは、他事業所より、協力をいただき見守りを行ってきた。現在は、ホームに居場所ができ落ち着かれている。</p>	<p>マニュアルに沿って1ヶ月に1回研修会を実施し、職員の共有認識を図っている。外部研修に参加したり、外部から講師を呼んで、スピーチロックや虐待防止等、勉強会を開催している。日中の玄関の施錠はせず、外出しそうな様子を察知したら、見守りや同行・気分転換をはかる等、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待の勉強会を開き一人一人が意識を持って仕事を行っている。今年度は、スピーチロックの勉強会を行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>身寄りのない利用者が入所され身近な問題として、全員で学ぶことができた。金銭管理を委託されている方が3名おられる。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>申し込み時に事前に理念・料金や部屋等を見ていただき契約を行っている。契約時は、利用料金・緊急時の対応・退所の条件等質問が多い。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の要望は面会時や家族会時にあげていただきホームで返答できない事は後日、回答をしている。ホームの改築や利用者の安心・安全につながっている。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族からは面会や花見・敬老会を兼ねての家族会で話したり、電話で意見を聞く機会を作っている。出された意見で、安全のために入浴の際に手すりをつけて欲しい等の意見を運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ホームの母体の変更に伴いホーム環境の整備を行っていただいた。また、職員の声を聞く機会を設けていただき、1つ1つに解答をもらえた。</p>	<p>管理者は職員会議やミーティング等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き、適切にアドバイスをしている。出された意見で勤務の時間帯の変更したり、浴室の暖房を改善する等、運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>母体変更に伴い、就業規則の変更・老朽化した施設の建て替え等職員の意見を取り入れていただき感謝している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修は行っている。また、法人の施設より勉強会の講師を派遣してもらい学ぶ機会がある</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着型事業所の合同事例検討会に職員が出席し一緒に勉強の機会があったり、ホームの情報交換や相談の機会がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族・ご本人や病院・担当ケアマネさんより情報をいただきご本人とお会いしお話を聞く機会をつくつていただいている。また、ホームとしての方針もお願いしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	申し込み時契約時ご家族のお話をゆっくりと聞く機会を作っている。また、入所当時は、まめに連絡をとり、ご本人の状態を報告している。遠慮なく話せるような声掛けを心がけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時病院や居宅・ご家族ご本人の情報をお聞きしている。入所後リハビリを希望され、他事業に紹介された方もおられた。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家族の一員として接することを心がけている。「おたがいさま」の気持ちを持ち、手伝っていただいたり、手伝ったり、大丈夫が合言葉。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族との関係も良好だと思っている。お願いしたりお願いされたり、皆さん協力的。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>今までの関係性があるので、難しい一面もある。またホームに移り住むとご本人を取り巻く環境は狭くなっている。家族や限定的な人が主になってきておられる。</p>	<p>入居時に家族や本人から聞いたり、面会の時、家族から聞いて把握している。家族や親戚の訪問を奨励しお茶を出して居室でゆっくりしてもらっている。馴染みの店での買い物など継続的関係が途切れないよう働きかけている。電話の取次ぎなども行っている。家族の協力で外出や外食・墓参の際などにも支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>職員が間に入り仲を取り持っている。お元気な方たちは、職員の目の届かない時間帯に見守って下さり、声掛けをして下さったり手伝ってくださる。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>ご家族との交流や次のサービスにつなげたり、ご本人の情報提供を行ったりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自分の意思のある方には、自己決定を基本としているが、出来る場合と出来ない場合がある。重度の方には、安心・安楽・声掛けを基本としている。	日常生活の中で、希望を聞いたり言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。夜間にはよく話をされる利用者がいる。困難な場合は家族や関係者からも情報を得て職員で話し合い、利用者本位の支援に結びつくよう検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	出来るだけ多くの情報を得られるようにしている。本人とのコミュニケーションの中から得られる情報も大切にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中より得られた情報は、共有し、本人に何が一番よいか考えて試行錯誤で取り組んでいる。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人が、不安なく安心して楽しく暮らせるために、ケアカンファレンスや日々の申し送り等で話し合いを持っている。また、自分たちで解決しない事は、家族や関係者から協力も求めている。	本人や家族の意向を確認し、主治医の意見も取り入れ、職員で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、更新時に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録はまだまだかな？職員間の情報共有は、出来ている。ケアの変更等臨機応変な対応ができています。チームワークバッチリ。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	母体施設の協力・関係機関の協力でホームで抱え込まない介護ができつつある。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議を通して、地域支援につながったり、有料サービスにつながったり、ボランティアに繋がってきている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人のかかりつけ医の受診を行っており、家族には喜ばれているが、重度者の受診の事業所負担が大きくなりつつあり検討中	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。受診は家族に連絡して職員が受診同行し、結果は家族に報告している。状態に変化がない時は家族同伴を依頼している。緊急時の対応などに連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。重度者の受診の事業所の負担が大きく運営推進会議で話し合い、改善の方向である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>法人内看護師や医療機関看護師地域連携室・病院と連携はとれている。重度利用者の医療頻度が増えてきている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医療機関との連携は、とれている。ただ、状態悪化時に協力医療機関のベッドの空きがなく他病院への入院となることが多くなってきている。情報提供したり、ケアカンファに参加したり退院後の話し合いを行ったりしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度看取りは行っていない。現在体調悪化の方が2名おられ、入院中。重度になった段階で、家族には、主治医より説明も行っていただいている。家族は、今後の行き先を心配されておられる。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し、同意書を貰っている。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認しながら事業所で対応し得る支援を行っている。食事がとれなくなった時は、主治医が説明をして家族の意向を聴いて、対応している。看取りの事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>2年に1回緊急救急訓練を実施しており全員が参加しているまた、緊急時の対応マニュアルがあり、勉強会がある。緊急時には、役割分担ができています。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルの整備を行っている3月に家族を含めた災害時の防災訓練を行った。</p>	<p>消防署立会いのもとで年1回昼夜想定避難訓練と、自主で年2回の夜間の呼び出し訓練や通報・通達訓練等を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置され、地域の人々の協力もある。災害時の水や米・レトルト食品等の備蓄がある。カセットコンロ等の準備もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>日々の業務の中で言葉づかい、声掛けには、注意を行っている。</p>	<p>マニュアルに沿って勉強会を行い、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけをしないケアに取り組んでいる。入浴やトイレ誘導等では羞恥心に対する配慮をしている。入室や言葉かけ・名前の呼び方等にも、配慮している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>何でも話せて、言いあえる関係作りに努めている。本人の気持ちを一番に考えている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>大まかなタイムスケジュールはあるが、ご本人に合わせるのが一番。職員も楽である。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>外出時・行事時・希望時にとびっきりのおしゃれを行うと顔が明るくなり、きれいねと声掛けすると喜ばれる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る人ができることを手伝って下さったり、食事づくりをとおして会話が広がったりしている。	入居時に嗜好やアレルギー食品を把握して、きざみ食・ソフト食等、形態を考慮し献立を作成している。糖尿病食にも配慮している。利用者の力量に応じて買い物や調理に参加している。行事食や節句・花見弁当・おせち料理・誕生日には希望に沿った献立で食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人内の管理栄養士の献立をもとに食事作りを行っている。嚥下困難者には、ソフト食を取り入れたり、見た目と味にこだわっている。水分摂取には、根気よく取り組んでいる。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	職員は、口腔ケアの大切さを理解しており、毎食後習慣化している。また、磨き直しを行ったり、ご本人を傷つけないように取り組んでいる。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用しながら、羞恥心に配慮し、声掛けや誘導を行っている。	排泄チェック表を活用して、パターンを把握しトイレ誘導を行っている。羞恥心や不安のない介助に配慮している。ポータブルトイレ使用の利用者も声かけて見守りしている。寝たきりの利用者以外は布パンツとパット、夜も誘導しておむつの軽減に努めている。失禁回数が減ってきている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事・運動に気を付けたり、排便チェック表にて、内服調整を行ったりしている。また、ハーブ茶にて排便がスムーズな方もおられ取り入れている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	温泉入浴ができ喜ばれている。「こげなよか風呂に入れて長生きする」と言われている。お元気な利用者は、希望に沿うことができるが、重度者は、難しい。	入浴は基本的に週3回、午前中であるが、個々人の体調や希望に沿って柔軟に対応している。清拭や足浴等も取り入れている。失禁時は、そのつど清潔保持に努めている。ゆず湯などで入浴を楽しめるように支援している。入浴を拒む利用者には声かけや時間調整など職員間で連携して、状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	認知の状態により、一晩お話をして過ごしたり、見守りを行ったりしている。心の安定を一番に考えている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋などで確認し、情報は共有できている。受診時など医師や薬剤師さんとも相談できている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>徘徊のある利用者にお仕事に来ているとの目的を持たせ、一緒に掃除を行っていたら、ホームに居場所ができ落ち着かれ、今は「パートリーダー」。食べることを楽しみにしておられる。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>重度化が進み、日常的な外出は難しくなっているが、花見や町駅伝の応援に出かけたり、近くのスーパーへ買い物に出かけたりしている。また、自宅へ外出されたり、家族と旅行に出かけられる方もおられる。</p>	<p>日常的には周辺を散歩したり、職員と一緒に食材の買い物に出かけている。個々人の希望で、ドライブを兼ねて自宅付近に出かけたり墓参の支援もしている。計画を立てて、花見や町駅伝の応援にも出かけている。家族の協力で外出や外食・墓参の支援をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>近くのスーパーへ買い物に出かけたり、パンを買いに行かれたり、している。お元気な方は、友人の方にお願ひして、必要なものがそろうようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望に添って援助している。遠方の方へは、郵便物と一緒にご本人の近況やお手紙をお送りしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	既存の建物を使っており、十分な環境ではないが、狭さゆえに職員や利用者がいつも一緒にいる事で会話がはずんだり、目が届いたりする利点がある。一年中、職員や家族が育てた花や野菜や展示物がある。	共用空間は、採光や換気・温度・湿度に配慮し空調機器も設置され清潔である。廊下は広くて長く歩行訓練もできる。浴室の隣にトイレも設置してある。台所は対面式で、利用者と会話もできる。ウッドデッキへ段差がなくて自由に出入りしやすい。日当たりも良く庭には菜園コーナーも整備し、居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングが憩いの場所。皆さんが集まってこられ、お話をされたり、お茶のみが始まったり。一人になりたいときは、自分の部屋へ帰ってゆかれる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	部屋の中は、基本家族で準備をお願いしている。必要物品等連絡して、家族と買い物に行かれたり自宅より持ち込まれたりされている。	居室はベッドやクローゼット・収納棚・エアコンが備え付けである。寝具やテレビ・タンス・位牌・アルバム・写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	日常使うものは、目で確認できるように配置を行っている。ご本人が不安にならないように、自信を持っていただけるような声掛けをおこなっている。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない